

平成22年度 東京都子ども救命センター運営事業実績報告

指定までの経緯

平成22年 1月28日 子ども救命センター(仮称)の創設にかかるWG開催(第1回)
 平成22年 2月15日 (第2回)
 平成22年 3月 6日 (第3回)
 平成22年 5月19日 三次救急医療施設運営会議
 (「子ども救命センター」の整備について報告)
 平成22年 7月29日 小児医療協議会
 (「子ども救命センター」の指定について承認)

指定日(平成22年8月27日)

- 区東ブロック(東京大学医学部附属病院)
- 区西南ブロック(国立成育医療研究センター)
- 区北ブロック(日本大学医学部附属板橋病院)
- 多摩ブロック(都立小児総合医療センター)

⇒ 9月1日 「子ども救命搬送システム」運用開始

地域の拠点施設としての取組

地域ブロック会議の開催

- 区東ブロック(東京大学医学部附属病院)
平成22年11月25日 第1回開催(参加:16医療機関、3地区医師会)
- 区西南ブロック(国立成育医療研究センター)
平成22年10月28日 第1回開催(参加:22医療機関、8地区医師会)
- 区北ブロック(日本大学医学部附属板橋病院)
平成22年 9月15日 第1回開催(参加:15医療機関、4地区医師会)
- 多摩ブロック(都立小児総合医療センター)
平成22年 8月 3日 準備会開催(参加:7医療機関(救命救急センター))
平成23年 1月31日 第1回開催(参加:17医療機関、14地区医師会)

地域研修会の開催

- 区東ブロック(東京大学医学部附属病院)
平成22年12月 8日 第1回開催(テーマ:意識障害の救急医療)

子ども救命センター受入実績 [平成22年9月～平成23年3月受入実績報告値(速報値)]

- 本紙の実績値は各子ども救命センターからの報告を単純集計したものである。
- 各子ども救命センターから報告のあったもののうち、原則として集中治療を要するもの(ICU入室患者)のみ集計している。
- 転帰については、各子ども救命センターからの報告時期による。
- 実績の対象範囲については、今後調整することとする。
(救急自動車による発生現場からの直送受入の実績等を計上していない場合がある。)

月	件数	年齢(月齢)			時間帯			理由				
		1歳未満 (0~11月)	1~6歳 (12~83月)	7歳以上 (84月~)	平日日勤帯	平日時間外	休日等	心肺蘇生後	呼吸障害	循環障害	中枢神経系 の障害	その他
9~3月	196	41	85	70	45	102	49	9	42	10	81	54
構成比	—	20.9%	43.4%	35.7%	23.0%	52.0%	25.0%	4.6%	21.4%	5.1%	41.3%	27.6%

搬送依頼元					搬送方法				
ブロック内 救命C	ブロック内 二次等	ブロック外 救命C	ブロック外 二次等	直送	ドクターカー	救急車 (チーム同乗)	救急車 (搬送元同乗)	救急車 (直送)	その他
30	15	15	17	119	3	15	48	87	43
15.3%	7.7%	7.7%	8.7%	60.7%	1.5%	7.7%	24.5%	44.4%	21.9%

搬入後診断														
脳・神経系	循環器系	呼吸器系	消化器系	腎泌尿器系	内分泌系	感染症	その他内因系	外傷	熱傷	中毒	溺水	窒息	その他外因系	その他
71	12	37	9	3	3	5	4	40	3	1	3	3	2	0
36.2%	6.1%	18.9%	4.6%	1.5%	1.5%	2.6%	2.0%	20.4%	1.5%	0.5%	1.5%	1.5%	1.0%	0.0%

予測死亡率(PIM2)							各種デバイス(※実使用者数/総件数)							
0~0.9	1~1.9	2~4.9	5~9.9	10~19.9	20~	不明等	CMV	HFO	iNO	CVカテ	A-line	CHDF	PEX	ICP
51	40	15	24	8	15	43	68	3	1	43	71	2	1	9
26.0%	20.4%	7.7%	12.2%	4.1%	7.7%	21.9%	34.7%	1.5%	0.5%	21.9%	36.2%	1.0%	0.5%	4.6%

転帰						
搬送元転院	他院転院	退院	病棟継続	ICU継続	死亡	不明・その他
12	10	140	18	4	10	2
6.1%	5.1%	71.4%	9.2%	2.0%	5.1%	1.0%

※
 CMV …… 人工呼吸管理(持続性強制換気)
 CVカテ …… 中心静脈カテーテル
 A-line …… 動脈圧ライン
 CHDF、PEX …… 血液浄化療法
 ICP …… 頭蓋内圧測定